

令和8年6月定例教育委員会会議録

令和8年塩尻市教育委員会6月定例教育委員会が、令和8年6月25日、午後2時00分、塩尻総合文化センター2階大会議室に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 主な行事等報告について
報告第2号 7月の行事予定等について
報告第3号 後援・共催について
報告第4号 塩尻市教育支援委員会委員の委嘱に係る専決処分報告について

4 議 事

- 議事第1号 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについて

5 閉 会

○ 出席委員

教育長	佐 倉	俊	教育長職務代理者	碓 井 邦 雄
委 員	甕	剛	委 員	八 島 思 保
委 員	小 松 裕 美			

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	植 野 敦 司	交流文化部長	上 村 英 文
こども教育部次長 (こども未来課長)	竹 中 康 成	交流文化部次長 (社会教育スポーツ課長)	赤 岩 司
学校教育課長	上 條 崇	平出博物館長	小 松 学
教育施設課長	五 味 克 敏	市民交流センター長 (図書館長)	清 水 隆 朝
保育課長	増 田 和 久	文化財課長	塩 原 真 樹
主任学校教育指導員	小 林 順 一		

○ 事務局出席者

教育企画係長	浅 川 忠 幸
--------	---------

1 開会

佐倉教育長 皆さん、こんにちは。本日は雨降りとなり、大変お足元の悪い中、お集まりいただきましてありがとうございます。天候は本当に梅雨真ただ中というところになってまいりましたが、この天候だけではなく、熊の頻繁な出没のために、子どもたちの外遊びとか屋外活動が制限される日々です。子どもたちが安心して登校したり、自由に屋外で遊べたりするようにするために本当にどうしたらよいか、そういったところを苦慮しているところであります。

それでは、ただいまから6月定例教育委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

2 前回会議録の承認

佐倉教育長 次第に従いまして、2番、前回会議録の承認について、事務局からお願いします。

浅川教育企画係長 前回、5月定例教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名をいただきますので、よろしくお願いいたします。以上です。

佐倉教育長 よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

佐倉教育長 それでは、そのようにお願いいたします。

3 教育長報告

佐倉教育長 3番、教育長報告に入ります。私からは3点報告をさせていただきます。

1点目です。大分前のことになってしまいますが、5月下旬のことになりますが、両小野小学校を含む市内小学校、義務教育学校、10校で運動会が開催されました。委員の皆様にもたくさん参観していただきました。ありがとうございました。

以前は秋に行われていた運動会ですが、ここ数年、夏から秋にかけての猛暑により、練習が十分できない、そのような事情から5月開催が増え、今年度は市内全ての小学校が5月開催となりました。5月運動会といえども、暑い日があることから、各校、児童の座席にテントを用意したり、また、休憩時間をしっかり取って水分補給をしたりするなど、熱中症対策に万全を期していただいていたと思います。

私も短時間ずつでありましたが、小学校、義務教育学校、10校全てを参観させていただきました。23日は小雨、霧雨の中、また、28日は大玉送りの大玉が吹き戻されてしまうような、そんな強い風の中でありましたが、その天候を吹き飛ばす子どもたちのパワー、元気、やる気、本気を感じる運動会でありました。各校では、子どもたちの活躍の場をたくさんつくろうと、大規模校ならではの、また、小規模校ならではの工夫がたくさん見られたなというふうに感じました。

5月定例教育委員会でも御報告をいただきましたが、桔梗小学校では、トラックを1周してから綱を引くというような綱引きをすることで運動量を確保したり、宗賀小学校では、子どもたちから選出された代表による竹引きの延長戦を行うことで子どもたちの主体性を引き出そうとしていたり、檜川小中学校では、子どもたち、保護者、地域の皆さん、さらには来賓、教職員も一緒になって木曾踊りを踊ることでつながりを深めたりするなど、本当に各

校、工夫がされているなというふうに感じました。また、塩尻東小学校では、今年度から児童会種目として、運動会の種目、具体的には、1年生から6年生の縦割りでチームをつくってボール運びをする種目を子どもたち自身が考えて、子どもたちの事前の準備、当日の進行で行うといった取組も東小では行われていました。

運動会などのこういった学校行事、非常に私、大事だと思っているのですが、そういったものを通して、さらに子どもたちの活躍の場をつくったり、主体性や協働性、創造性を育むことにつなげていってほしいなと感じたところです。

2点目です。新聞報道にもありましたが、丘中学校生徒会で、学校の諸課題を全校で話し合い、解決につなげようとする取組がありました。今回、全校で、1年生から3年生の縦割りのグループにして話し合ったことが非常に大きな特徴かなと思い、新聞を読ませていただいたり、ホームページを見せていただいたりしたのですが、学校生活を子どもたち自身が見返して、自分たちの力で自分たちの生活をよりよいものにしていこうと、そういった取組というのは、最終的には自治力につながっていくものと考えています。非常に大事な取組だと思いますので、今後も大事にしていってほしいなと感じました。

このほか、そういった視点で市内の学校の取組を見ますと、先ほどの運動会種目を子どもたちの意見で決めるという取組、そのような取組など、子どもたちの意見を学校づくりに取り入れていく取組が見られるようになってきているなというふうに感じています。

これは、これからまた取り組まれるそうですが、塩尻中学校では、「塩中未来クリエイト」という名称をつけて、生徒参加の熟議を行って、それを次年度の学校づくりに生かしていくと、そんなことをやろうとしているという話をお聞きしています。

同様に、ご存じのとおり塩尻市では、こどもまんなか社会の実現を目指して、令和6年度から、しおじりこども・若者いけんひろばを開催しております。子どもたちの意見を施策に反映しようという取組なのですが、今後も、子どもの意見が尊重される社会をぜひ目指して、学校においても、市においても、子どもの意見を聞いて、その意見を取り入れ、生かしていくということを大事にしていきたいな、そんなことを各校の取組から感じました。

3点目であります。学校における働き方改革の推進についてです。6月のカレンダーを見ていただきますと、6月のカレンダーは祝日がありません。祝日がありませんが、市内の中学校の多くは、6月8日月曜日、15日月曜日、22日月曜日を計画休業にしております。その点、御家庭の御負担をおかけしているところもあるかもしれませんが、この取組は、運動部活動の最盛期の6月、これはまた生徒も職員も疲れやすく、練習時間も長く、大会のため休日が取れないという状況であります。生徒の休養や調整、あと、顧問の負担感を減らすことを目的に、数年前、ある中学校から始めた市内の取組なのですが、そのよさが共有されて、市内中学校に広がっています。近隣の市では、ここまで計画休業を取り入れている市は少ないかと思うのですが、これは学校の取組で自然に広がった取組であります。

学校における働き方改革は、教員の働きやすさと働きがいの視点から進めていくことが大事だというふうに思っておりますが、同時に、子どもにとってもゆとりのある学校生活をつくり出すこと、過ごしやすさが感じられ、子どもにとってわくわくするような年間計画とか日課をつくり出すことも大事な視点として持っていきたいなと、そんなことを感じたところでもあります。

私からは、報告は以上になります。それでは、委員の皆さんから、それぞれの参加されま

した行事や事業などについて、お気づきの点等ありましたら、御発言をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

碓井教育長職務代理者 では、2点お願いいたします。

1点目は、6月12日から行われた塩尻市民文化祭を参観させていただいたことについて、感想中心ですけれども、お願いしたいと思います。私は、6月14日に行って、レザンホールで日本舞踊や詩吟を見せていただき、総合文化センターでは、絵画や盆栽等を鑑賞させていただきました。いずれもすばらしい内容で、私自身、ふだんの生活の中で、あまり芸術文化に接することがないものですから、いつもと違った気持ちで楽しませていただきました。また、多くの方が様々な芸術や文化活動に取り組んでおられることを改めて知る機会にもなって、とても勉強になりました。

レザンホールの前の広場で書道パフォーマンスとダンスパフォーマンスが行われましたけれども、それもを見せていただきました。書道パフォーマンスは、松本深志高校の生徒の皆さんの力強い演技を見せていただき、ダンスパフォーマンスは、K-P O Pというのでしょうか、そのリズムに合わせて多くの子どもたちのチームの踊りを楽しませていただきました。会場には、大勢の方が見に来られていて、「レザンホールへの出入口を空けてください」と注意をされるほど盛況でした。

また、そこで司会をされていた市の職員の方の進行の仕方もすばらしくて、その場を盛り上げたり、会場を上手に整理したりされるなど、とても見事だなと思いました。市民文化祭については以上です。

2点目は、教育長からもお話がありましたが、先月の小学校の運動会を参観させていただいたり、コミュニティ・スクールの活動の情報をいただいたりして、子どもたちの体験的な活動という面で感じたことであります。

私、5月下旬に行われた小学校の運動会は、桔梗小と西小を参観させていただきました。桔梗小では、休憩時間に校長先生と少しお話をさせていただきましたけれども、今年の運動会は、昨年の反省をもとに、全校が一堂に会して行う形にしたということでありました。昨年は2部制で行っていて、半分の学年が校庭で運動会を行って、残り半分の学年は教室でライブ配信をテレビで見ていたということでしたが、やはりテレビ視聴では厳しい子どもの姿が多く出てきてしまうと、そんなお話でありました。

それから、西小では、囃委員が関わっておられる西小ライブの皆さんが実施された太鼓と塩尻音頭を中心に参観をさせていただきました。この2つは、休憩時間の終わり頃行われたというふうに記憶しているのですが、子どもさんの魅力ある司会や、それをサポートする先生の進行で、リラックスした中で、和やかに会場全体の皆さんで取り組んでおられた姿がとても印象に残っております。

また、八島委員からは、丘中のダスクの活動で、吉田三区で行われた「えびの子まつり」のボランティア活動の様子を教えてくださいました。私もかつて吉田小に勤務していたときに、何回か「えびの子まつり」に参加させていただいたことがあります。そのときは、地区の皆さん中心に運営されていたかなと思います。こういう地域の行事に中学生が参加して活動することは、中学生にとっても、地域にとっても、価値あることだというふうに感じました。

丘中の関係では、これも、先ほど教育長のお話にありましたけれども、6月初めに、生徒

会が全校参加で、学年が入り混じる形で、6、7人のグループに分かれて討論会を実施したということが新聞に載っていました。大きな集団の中での自治的な活動のようでしたけれども、一人一人の生徒にとって、視野を広げるなどのよい体験、よい機会になったのではないかなと思いながら、興味深く記事を読ませていただきました。

以上、運動会を参観させていただいたり、コミュニティ・スクール活動等の情報をいただいたりして、感じたことを申し上げましたが、コロナ禍以降、学校の働き方改革もあって、行事等の在り方や参加の仕方なども変わってきていて、特に集団で行う子どもたちの体験的な活動がどんどん減ってきていると感じております。私は、教育の中で、集団での経験とか体験等は大変大切だというふうに思っていて、それを確保していくには、今の流れの中でどのようなスタイルがいいのか、子どもの姿をもとに試行錯誤しながら、効果的なやり方を探っていくことがとても大事ではないかということ最近考えております。

学校の働き方改革は、教育長もおっしゃるように、今後ますます進んでいくというふうに思いますし、PTAや地域の自治会等も負担軽減の方向だというふうに思います。私が思うに、子どもを取り巻く環境が厳しめに変化してきている、そういう方向の中で、どう子どもたちの体験の場をはじめ、学校生活を豊かにしていく場、安全等も含めて、そのような場を確保していくのか。今の流れの中でというか、今の流れの中だからこそ、このような視点を持つことが必要になるのではないかと、運動会を参観したりコミュニティ・スクールの情報等をいただいたりして、改めて強く思いました。以上です。

佐倉教育長 ありがとうございます。続いていかがでしょうか。

八島委員 教育長からの報告でもありましたが、私も運動会について追加報告をさせていただきます。桔梗小については前回の定例会で報告させていただきました、今回は、吉田小と洗馬小と宗賀小の3校の運動会見学につき報告させていただきます。

まず吉田小ですが、全校競技がなくなり、表現と競技を合わせて行う形が多くありました。ダンスと玉入れの混合や、後ろ向きからの、よーいドンをするかけっこなど、混ざる運動会にシフトされていました。勝敗や順位を中心にした形ではなく、勝ち負けの強さを和らげた、できる・できないを、ばかす工夫がされているなど感じました。

一方、洗馬小では、先ほど子どもたちの意見を取り入れた取組が増えてきたと教育長からも御報告にありましたが、洗馬小の6年生は1クラスしかありませんが、子どもたちで話し合い、かけっこをせずにリレーを選択したそうです。全校児童の応援は大変盛り上がり、保護者からもすごく楽しかった、やはりリレーはいいなといった感想も数多く聞かれました。また、全校競技の大玉送りもありました。

宗賀小では、3・4年の棒引き、5・6年で行う組体操など、2学年ごと一緒に競技を行っていました。組体操では難易度の高いリフトもあり、見どころがすごくあるなど感心いたしました。2学年ごとに行うことで経験の積み重ねがあり、翌年に生かすことができると感じました。また、最後に校歌ダンスがあり、ボンボンを使い卒業生や地域の方々も輪に入りながら校歌を合唱しながらダンスを踊っていらっしゃいました。とても一体感があり、地域の中に小学校が中心に存在する共同体の温かさを感じさせられました。

今回、大規模校と小規模校の違いを見学することができました。大規模校は人数が多いため、個の差も大きく、安全性や公平性の配慮が優先され、混合型のような全員が成立する設計であり、小規模校は、顔が見える関係から、一人一人に役割があり、1人が欠けると成立

しないチーム型で関係の濃さを感じました。盛り上がりはそれだけ関係が近い証なのかもしれませんね。自分が流れを変えていける感覚もありますし、2学年合同も、合理性だけでなく、異年齢との関係づくりの場となっており、縦の関係づくりがすごく自然につくられていると感じました。

失敗しない運動会と忘れられない運動会、どちらもそれぞれの必然と価値があると思います。その地域が育ててきた文化が表れている運動会であったと今回感じました。

ただ1点、少し残念なこともありました。運動会中、立入りの禁止ゾーンや、移動の動線を定めるためにロープが使われていることがあります。ロープの高さは思いのほか低いことが多いです。児童に合わせた高さであると推測はできますが、見学をさせていただいた中で、応援者には、高齢者、地域の方も数多く来校されていました。一昔前ではあまり見受けられない光景ではございますが、近年は、車椅子の方、在宅酸素の方、つえ歩行の方など、様々な方が応援に来ていらっしゃるようです。つえ歩行をされていた高齢者の方が、ロープに気づかず転倒をしてしまいました。学校もそこまでの配慮は難しいと思いますが、まだまだバリアフリーの感覚が社会全体では乏しいなと感じました。

運動会の報告は以上になりますが、1つ質問です。先日、市民タイムスに、朝日小のプールを洗馬小学校児童と共同利用が始まったと記事が掲載されましたが、現場からの感想や課題があるようでしたら教えていただきたいと思います。

上條学校教育課長 昨年から、教員の働き方改革の一環としてプールの民間委託に取り組んでおり、昨年度はヘルスパ塩尻で、今年度は朝日村との連携により朝日小学校の室内プールを使用して実施しています。

今年度はまだ始まったばかりのため、現時点で現場から具体的な声はまだ寄せられておりません。一方で、昨年度のヘルスパ塩尻で実施した事例では、児童からは「水温が屋外より温かく入りやすい」、保護者からは「専門的な知識を持つ指導者の下、安全面も十分考慮されていて、子どもたちも満足していた」といった声が寄せられました。今回の朝日村でも専門的な指導者の下で実施しており、その点では、同じ結果が得られるかと思っています。

また、今回、新聞でも紹介された学年は、朝日村の同学年の児童と同じ時間帯でプール授業を実施しております。子どもたちの反応も良好と聞いており、今後、授業に慣れてくれば、競技という形ではありませんが、合同で取り組める活動を取り入れてみたいという声も聞いております。

八島委員 ありがとうございます。今年は、ヘルスパは利用しないということですか。

上條学校教育課長 そうです。今年は利用しないです。

八島委員 分かりました。同じ学年同士、他校と、また、他児と触れ合えるというのはとてもよい経験であると思います、ぜひ進めていただきたいと思います。

佐倉教育長 ありがとうございます。続いてお願いします。

小松委員 私からは報告を2点させていただきます。

1点目です。私も運動会の報告からです。先月末、片丘小学校と広丘小学校の運動会を参観してきました。

インフルエンザで延期し、29日の平日開催となった片丘小学校ですが、校長先生に伺ったところ、当日もまだインフルエンザで参加できない児童が数名いるようでした。1・2年生の玉入れとダンス、3・4年生の旗を使った表現と棒運び、5・6年生のリレーを参観しま

して、2学年が協力して一生懸命に取り組む様子やその表情に多くの刺激をもらいました。また、大玉転がしでは、PTA会長が会場の保護者や地域の方に呼びかけて、大人も参加しての競技となり、大人も子どもも楽しそうに競技に取り組んでいました。

30日の広丘小学校の運動会は、天気がよくとても暑い日でしたが、子どもたちは最後まで力いっぱい頑張っていました。5年生の騎馬戦は迫力がありましたし、6年生の組体操はとてもきれいにそろっていて、心が震えました。4年生の短距離はハードル走で、運動会で行われるのは珍しいなと感じたことと、今のハードルは当たっても痛くない素材でできていて、中央で開くタイプになっていたのも、学校の備品が進化していることに驚きました。今年は3校の運動会を参観し、競技の内容やプログラムの構成など、各学校いろいろと工夫されているなと感じました。

2点目です。6月20日、塩尻東地区センターで開催された、ほたと音楽の夕べというイベントに参加しました。今年で18回目を迎えるこのイベントは、東地区の人が楽しみにしているイベントの一つです。11組のステージ発表では、塩尻中学校吹奏楽部や東小学校金管バンド部の演奏のほかにも、手話ダンスやコーラス、阿禮太鼓の演奏、先日市民タイムスにも取り上げられていました音楽グループ「クチョーズ」など、小学生から高齢者まで多くの人が参加していました。

また、図書館東分館では、このイベントに合わせて工作やスタンプラリーが行われ、親子連れもたくさん訪れていました。この日はあいにくの雨でしたので、翌日、子どもたちと田川を散策しまして、今年も多くの蛍を見ることができました。報告は以上になります。

佐倉教育長 ありがとうございます。

壺委員 今、片丘小学校の運動会の話が出たのですが、プログラムの内容を見ましたか。その中に「玉、入れ過ぎて滅！！」という玉入れのネーミングが今っぽくて、面白いなと思いました。

また、給食に関してもワールドカップが開催されている今、応援献立という各国の名物料理を使った給食をアレンジして提供して下さってまして、それをホームページにアップしてくれているのですが、先日のメニューのひとつに出たコロッケを皆さんに見てもらいたいのなのですが、このコロッケに出場国の国旗が印字されているのです。そういった工夫はすごく手間がかかると思うのですが、目で見ても楽しめて、しかも学びのある給食提供に、本当にありがたく感謝したいなと思いました。私は今年も漆器祭に参加させてもらったのですが、1つ八島さんにリクエストですが、「ならにこカフェ」に行かれましたよね。

八島委員 はい、行きました。

壺委員 少し感想を聞かせてもらいたいのなのですが、どうですか。

八島委員 児童がウエイトレスをされていました。対応はものすごく丁寧で、大人も驚くほどの接客力であり、大変びっくりいたしました。堂々たる態度で、メモを見ながらの接客でもなければ、適応力も抜群にあり、お客さんの質問に対して受け答えもしっかりとでき、語彙力、表現力もすばらしかったです。先生方も地域の方も、ものすごくフォローしてくださっており、長蛇の列ができておりました。学校とゆかりがないであろうと思われる地域の方たちも皆さん足を運んでくださっていて、すごく愛されている学校だなと感じました。以上です。

審委員 ありがとうございます。やはり学校は多様な学びを与えてくれるととてもいい場所だと思うのです。ですので、今ちょうど臨海学習に行っている学校がありますけれども、そういったことも含めて、たくさんのことを学んでもらいたいと思っています。

そんな中で先日、小林先生から教えていただいたのですが、東小学校に留学生の方が来て、一緒に交流授業をやったという話をちらっとお聞きしたのですが、そのあたりのお話を少しお聞かせください。

小林主任学校教育指導員 6月23日ですが、塩尻東小学校に信州大学に留学している16名の留学生が来ました。3年生2クラス、4年生2クラスの合計4クラスで交流をしました。それぞれの学級に4人ずつ留学生が来まして、子どもたちは4つのグループに分かれて迎える準備をしていました。

私が見た学級では、担任の先生が英語でのリアクションを子どもたちと一緒に練習をしていました。「Good」「Me too」「Wonderful」というような声が至るところから聞こえてきて、準備万端だなと思いました。少し遅れて大学生たちが入ってきますと、「ようこそ東小学校へ」という意味の英語を子どもたちが大きな声で言って迎えました。ある学級ではグループに分かれて留学生を迎え入れ、好きな給食メニューを小さなカードに子ども自身が絵で描いて、自己紹介で使っていました。「I like 東っこラーメン」などと言いながら、「My name is ○○」と自己紹介をしていました。その後、外国語活動で勉強してきた「What food do you like?」とか「What sport do you like?」というようにいくつかの質問を分担してあったので、子どもたちが留学生に対して質問をし、答えてもらいました。子どもたちは、自分の英語が伝わったことやその英語が分かったことですごくうれしそうな表情をしていました。

留学生からもプレゼンテーションがあったり、実は日本語をしゃべることができる留学生なので、日本語での交流をしたりしながら楽しい1時間を過ごしていました。すばらしいと思ったのは、このアイデアを出したのが市費の講師の先生で、その先生が交流をコーディネートして、4つの学級の担任が授業をしたという点です。協力した担任もそうですし、子どもたちにとってよいことだと思えば学校を挙げて協力する、こんな体制ができていることがとてもすばらしいと思いましたし、何よりも子どもたちが英語を学ぶその目的やその意味、そして伝わる喜びを味わえるすばらしい体験になったなというふうに思いました。以上です。

審委員 ありがとうございます。本当に学校はたくさんの学びを与えてくれるいい場所だなと思います。しかし一方で、先生たちに求められる内容が多様かつ山積みになっている現実もあります。ですので、不要な事や物を切り捨てるという部分を丁寧に見極め、教育委員会として、子どもも先生方もサポートしていけばいいなというふうに感じました。

最後に質問を2つさせてください。1つは、プール開きが各学校で行われて、水泳の授業が始まっているのですが、始まる前にプール清掃をするではないですか。ひび割れだったりとか、補修しなければいけない部分がかなりあったと思うのですが、それがどのくらいの数とどのくらいの予算がかかるのかという部分がまず1点。

もう1つは、今、松本市などですと、避難所としている体育館も徐々にエアコンを入れていっているようなのですが、塩尻市は今の財政を考えるととても無理だなと思っていますが、一応今後の見通しと体育館の利用の仕方も含めて、分かる範囲でいいですので教えてください。

五味教育施設課長 まず、プールの補修の状況ですが、水を張った段階ですが、今年は

宗賀小と西小学校からございました。箇所に関しては、報告を見る限りですと、片手くらいの数をところどころパッチをしたりとか、その程度の補修で済んでいるという状況になっております。

もう1点、体育館のエアコンの関係ですけれども、昨年度、学校施設としていろいろと内部で提案をさせてもらったのですけれども、今のところ、避難所の観点というところを市の中で重視をしております、先ほどもあったように、全部というのはなかなかというところで、今、どういう方向になるかは分からないのですが、どこにつけていくかというところを内部で検討している状況になっております。以上です。

委員 回答ありがとうございました。ある保護者の方が何かの大会で岡谷だったか、どこかの体育館を使ったときに、8台くらいエアコンが入っていて、すごく快適だったと言っていたので、そういったところ、どのようなエアコンを使っているのかも研究していかなければいけないところかなと思っています。

また先日、丘中学校の保護者の方とお会いしたときに、いろいろな話からホームページの話になりまして、最近、丘中学校はすごくホームページを更新してもらっているので、それを楽しみにしているとおっしゃってくださいました。言い続けてきてよかったなと本当に思っています。若干1校だけ、まだ全然出ていないところがありますけれども、お忙しいことは本当に重々分かっていますが、各校、閲覧数も増えてきていますから、こうしたことが地域へ浸透していくことで、みんなで子どもたちを育てるという方向へ向かっていけばいいなと思っております。ぜひ今後とも、そういった発信をするようによろしくお願いいたします。以上です。

佐倉教育長 ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

碓井教育長職務代理者 1点質問をお願いいたします。塩尻市立学校適正規模等審議会への諮問についてであります。このことについて6月中旬の新聞に、市教委が将来の小中学校の再編を見据え、望ましい学級人数や学級数などの基準の作成について諮問したという記事が載っていました。将来の小中学校の再編を見据えるということは、非常に大事なことだと私は思います。このことは以前の協議会でお話いただいたわけでありますけれども、改めて、将来の児童生徒数の見通しや審議会の進み方、日程等について、概略的な内容でいいですので、教えていただければと思います。以上です。

上條学校教育課長 先日18日に開催しました塩尻市立学校適正規模等審議会での諮問内容については、今、碓井職務代理がおっしゃったとおり、将来を見据えた学校規模の配置や規模、さらには通学距離を含めた通学条件の適正化について諮問を行いました。また、7月1日から約1か月かけて、現在の小学5年生から中学3年生までの児童生徒、小中学校の全保護者、保育園等の保護者、そして学校の教員に対して、それぞれの考えや意見を把握するためのアンケートを実施し、この結果を集計・分析したうえで、審議会において審議いただき、塩尻市としての一定の基準を策定していきたいと考えています。

今年度のスケジュールにつきましては、11月ごろにアンケート結果を審議会へ報告し、年度末の3月ごろに答申をいただく予定にしております。その内容を踏まえて定例教育委員会に諮りながら、来年5月ごろを目途に本市としての適正規模・適正配置に関する基準を策定していきたいと考えております。

碓井教育長職務代理者 その審議会の答申を基に、将来的な具体案も事務局のほうで考えてい

くと、そんな理解でよろしいですか。

上條学校教育課長 例えば、学校全体のクラス数については12学級から18学級程度が望ましいとされているほか、学級編成については1クラス 35人程度を基本とする考え方が示されています。また、通学距離についても、小学生はおおむね4キロ以内、中学生はおおむね6キロ以内が適当であるとの目安が示されています。ただし、これらは国が示す一般的な目安であり、その基準がそのまま塩尻市に適しているとは限りません。そのため、本市の地域特性や実情を踏まえながら検証し、本市としての基準を今年度策定していきたいと考えております。その上で、来年度以降は、策定した基準に照らして各学校の状況を確認し、基準に合致する学校と、合致しない学校を整理していくことになります。基準に合致しない学校につきましては、それぞれの地域の実情や教育環境を十分に踏まえながら、様々な選択肢を個別に検討していきたいと考えております。

碓井教育長職務代理者 ありがとうございました。

齋委員 1つだけ言い忘れました。5月30日に運動会が開催されたところがあります。実はその日にわんぱく相撲の大会がありまして、これは青年会議所が主催となってやっているものですから、青年会議所のほうには、なるべくバッティングしないようにお願いしましたが、今回、出場できた児童がいつもの半分くらいだったのです。だから、わんぱく相撲に出たくても、運動会があつて出られなくてという児童もいたようなので、来年以降は日程調整をお願いしたいなというところが1点ありました。

大会は開催されたのですが、そこで西小学校の白鳥豪君という6年生、名前を覚えておいてもらえるといいかなと思います。期待の小学生。すぐにでも角界に入ってほしいくらいの、そんな感じの期待の児童です。

佐倉教育長 ありがとうございました。そのほかいかがでしょうか。

八島委員 感想を1点よろしいでしょうか。先日、これも市民タイムスですが、ヤングケアラーの実態調査の記事が19日に掲載されていました。認知度の低さに課題があるといった内容でしたが、子どもにとっては、日常であり、特別なことで、特別なことと思っていないケースがあると思います。

ヤングケアラーといった言葉自体を知らない、というよりは、自分が当てはまると認識する、入り口がない状態なのかもしれません。いい子ほど表に出ず、むしろ責任感が強くて我慢ができて、周囲に迷惑をかけないといったような高い評価を受ける子どもたちもこの中にはいるのではないかなと思っています。

なので、自己申告では潜在的なヤングケアラーを見つけるのはなかなか難しい課題ですね。定義に当てはまるかどうかよりも、実際のしんどさとのずれがどのくらいあるのかといったところにも目を向けていただけたらなと思っています。自分は大変だと思っていないかもしれない、正しさよりも、安心な環境を社会がつくるのが、私たち大人の役割であると私は感じています。

竹中こども教育部次長（こども未来課長） ありがとうございます。おっしゃるとおりで、同じことをしていても、それがしんどい子としんどくなく頑張れる子といると思うのですけれども、我々としては、ヤングケアラーという定義を子どもたちに知っていただくと同時に、SOSを出した子には素早く手を差し伸べられるような、そういう体制を取ってまいりたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

八島委員 つらいことは悪いことではないこともあります。苦悩や苦痛、頑張りは辛さだけで終わらないこともあります。環境に適した結果の強さを持った大人として評価される人材に成長するかもしれません。しかし、頑張ることと、休めるバランスを伝えていくことは大切だと思います。できるだけＳＯＳを周りに言えるような、安心の地域や社会になっていったらよいなと思っています。

佐倉教育長 ありがとうございます。

小松委員 先月の定例教育委員会で碓井職務代理者からありました、平出遺跡の学校利用に関する報告です。6月17日、東小学校の6年生が社会科見学で平出遺跡公園と平出博物館を訪れました。平出博物館を見学するグループ、勾玉作りを体験するグループ、火起こし・弓矢体験と復元住居を見学するグループ、この3つのグループに分かれて、体験したら次の場所へ移動ということを繰り返して、全ての見学と体験をした後、学校へ戻りました。移動は大型バス1台と市のマイクロバス1台を利用した移動でした。

東小学校では、2、3年前から平出遺跡見学が行われるようになったと記憶しています。6年生の子どもたちは今、社会科の授業で縄文時代、弥生時代の学習を進めています。遺跡や土器などを見学したり、当時の生活を体験したりすることで、歴史への興味や理解を深めることができたと思います。

また、塩尻市には重要な歴史資料や、それらを展示・復元している施設があるという地域のよさを改めて感じたのではないかと思います。見て・触れて・感じることでできる貴重な機会ですので、今後も続けてほしいです。

それから、先ほどの東小学校の留学生との交流に関して。これもちょうど娘のクラスで行われていまして、どんな給食を紹介したのかと聞いたところ、コンコンコロッケを紹介したと言っていました。また、留学生の方にサインをもらうために行列ができていたということも話をしていました。とてもいい時間を過ごせたのではないかと思います。以上です。

小松平出博物館長 ありがとうございます。平出博物館では、各学校の生徒たち、学校から遺跡公園、そして博物館に来たいけれども時間とあと手段がないということで、そちらを何とかしたいということで数年前からこういう取組をしまして、先週ですけれども、先週は塩尻中学校、そして塩尻東小学校、あと木曽檜川小中学校、そして宗賀小学校、その4校が博物館を訪れています。そのうち宗賀小学校に関しましては、学校が近いものですから歩いて来ましたが、ほかの学校については、こちらの博物館のほうで用意したマイクロバス、そして、ほかの自動車等で生徒たちを送り迎えするというので、せっかく博物館、遺跡公園という貴重な場、いろいろなことを体験できたり、知ることができる場があるのに、そういう機会をなかなか得られないということは、子どもたちにとっても損失ですし、こちら博物館としてもやはり大きな損失だと考えますので、今後、機会があればなるべく多くの学校に御利用いただけるように、こういった取組を進めていきたいと思っております。

佐倉教育長 ありがとうございます。よろしいですか。どうもありがとうございました。

それでは、次に進めさせていただきます。

○報告第1号 主な行事等報告について

佐倉教育長 報告第1号、主な行事等の報告についてお願いをいたします。資料の1から4ページまでになります。事務局から主要な行事について説明をお願いいたします。

小松平出博物館長 それでは、交流文化部の行事報告をまずお願いいたします。資料1ページ上段を御覧ください。2月14日から5月24日にかけて、企画展「掘ったら出た！～床尾中央遺跡発掘速報展～」を開催いたしました。これは昨年5月から12月にかけて実施されました床尾中央遺跡の発掘調査成果をいち早く紹介するために行ったもので、住居の床下に埋められていた埋甕24個や祭祀用のランプとされる釣手土器など、通常の発掘調査ではめったに出土することのない貴重な遺物が多数展示されまして、こちらにつきましては全国各地から3,588人もの来場者があり、大変盛況でした。

続きまして、ページおめくりいただきまして、4ページ上段をお願いいたします。6月6日に「柳田國男と菅江真澄一本洗馬での「民間伝承論大意」講演一」と題して國學院大學名誉教授の小川直之さんにお話をいただきました。民俗学者である柳田國男生誕150周年を記念したもので、昭和5年に洗馬長興寺で開催され、その後の民俗学の樹立に大きく寄与したとされる「民間伝承論大意」の講演にまつわる背景などについて紹介され、菅江真澄と柳田國男との深いつながりを知ることができる大変興味深い講演で、40名の受講者がございました。私からは以上となります。

塩原文化財課長 私からは、文化財課の関係する文化施設の行事報告をさせていただきます。資料1ページになります。初めに、自然博物館で塩尻東小の5年2部の研究発表ということで、東小学校5年2部の児童が総合学習で勉強した自然に関する内容を壁新聞にまとめた内容を自然博物館の展示スペースを利用して展示を行いまして、多くの皆さんに見てもらったものです。3月24日から5月24日にかけて行いまして、通常の展示も含め、期間中に3,417名の入館者がありました。

続いてその下、同じく自然博物館で、おもちゃ工房のおもしろ科学実験ということで、空気、水、紙切り、積み木、オルゴール、箱等の組合せトリックなど、様々な不思議な実験を子どもたちと一緒にを行いまして、実際に体験して何でそうなるかというような疑問を持つことの大切さを学びました。親子一緒に参加ということで、41名の皆様に楽しんでいただきました。

続いて、4ページになります。真ん中の段、塩尻短歌館、はじめての短歌ワークショップになります。こちらは全5回中の1回目になります。内容としましては、短歌が全く初めてという方々向けに短歌づくりの講座を行ったものです。こちらにつきましては、今年度短歌館で初めての企画として行った講座です。参加者全員が短歌の初心者であることから、安心して受講することができたようです。定員の10名を超えた12名の参加で、初めての方にも短歌について触れてもらう機会が持てたということになります。私からは以上です。

清水市民交流センター長（図書館長） 私からは、図書館と市民交流センターをまとめて御説明いたします。まず2ページをお願いいたします。真ん中ですが、5月17日信州しおじり本の寺子屋の開講式が行われました。本の寺子屋研究会の幹事を務める高橋龍介さんを講師に招き、「『寺子屋』かまど化計画について」という講演会を開催いたしました。

続いて、1ページおめくりいただいて、3ページをお願いします。3ページの下の方ですが、5月26日えんぱーくDVD鑑賞会を開催いたしました。市民ボランティア団体「図書館シネマ倶楽部」の皆さんに作品の選定を御協力いただいているものです。この回については「九十歳、何がめでたい」という最近の映画でして、過去最高の参加者数でありました。

続いて、1ページおめくりいただいて、4ページをお願いします。4ページの一番下、6

月7日ですが、本の寺子屋です。翻訳家の金原瑞人さんを講師に招き、「翻訳家も知らない、わからない、手に負えない言葉」と題し講演会を開催いたしました。普段なかなか聞くことができない翻訳の裏話などがあって、多数の参加をいただきました。説明は以上です。

佐倉教育長 ありがとうございます。委員の皆さんから御質問、御意見等ありましたらお願いいたします。

小松委員 1ページ目の中段の自然博物館の展示なのですが、こちら4月の定例会でも報告させていただいたのですが、娘のクラスの展示だったので私も見に行っていて、長い期間展示していただいて、多くの人に見ていただけたこと、大変よかったと思います。今年度も総合学習のテーマを自然として、動植物の観察や学習などを進めているようです。

続いて2ページの上段の読み聞かせおはなし会講座についてなのですが、5年前に読書推進アドバイザーの方に小学校に来ていただき、読み聞かせボランティアに登録した保護者に向けて話をしてもらったことがありました。私もそのときに参加していきまして、絵本の選び方ですとか読むときの姿勢、本の持ち方、ページのめくり方、それから読み方など詳しく教えていただいて、大変役立ったことを覚えています。5年前は10人以上のボランティア登録者がいたのですが、今年度は3人しか登録者がいないということで、図書館の先生も困っていたので、私も後から登録させていただきました。

それで提案なのですが、今後このような読み聞かせ活動に興味のある方が集まる講座やイベント時に、市内の小学校で読み聞かせボランティアを募集していますといった案内をすることが可能なかどうかということをお聞きしたいです。

清水市民交流センター長（図書館長） ありがとうございます。可能かと思しますので、持ち帰って検討させていただきます。

佐倉教育長 ありがとうございます。ではそのほか、いかがでしょうか。よろしいですか。

ありがとうございます。本当に様々に行事等もやっていて、それを子どもたち、学校のほうにもつなげていただいて本当にありがたいなと思います。

○報告第2号 7月の行事予定等について

佐倉教育長 では続きまして、報告第2号をお願いします。7月の行事予定等についてお願いいたします。資料の5ページです。全員に関わるものは、30日の定例教育委員会・協議会があります。また4日には、家族でおいでおいでまつり、5日には塩尻市民音楽祭管弦楽発表の部がありますので、御都合のつくところがありましたら、また御参加をお願いしたいと思います。

行事予定について、何か御質問等あるでしょうか。

碓井教育長職務代理者 14日火曜日の14時から行われる塩尻市不登校を考える会、この会はどうな会なのか、出席者とか内容等について教えていただければと思います。

上條学校教育課長 14日に開催を予定しています会議については、今年度から名称を変え、昨年度までの「不登校支援について考える会」に代わり、「こどもまんなかつなぐ会」として開催いたします。

内容につきましては、まず教育支援センターからの活動報告と、市の指導主事からの報告を予定しております。参加者は、フリースクール関係者をはじめ、子どもたちの支援に関わる様々な立場の方々を参集しています。会議では、グループワークを中心に進め、それぞれ

の立場から意見交換を行う予定です。また、今年度からは信州大学の荒井先生を講師としてお招きしており、会議の最後にはグループワークでの意見交換を踏まえたお話をいただく予定としております。

碓井教育長職務代理者 この会は、希望すれば傍聴等をさせていただくことは可能なのでしょうか。

上條学校教育課長 可能です。

碓井教育長職務代理者 ありがとうございました。

佐倉教育長 そのほか、予定に関わって確認等ありましたらお願いします。いいですか。ありがとうございました。

それでは、次に進めさせていただきます。

○報告第3号 後援・共催について

佐倉教育長 続いて、報告第3号、後援・共催についてですが、資料の6ページ、7ページです。御質問、御意見ありましたらお願いをいたします。よろしいですか。ありがとうございました。

それでは、次に進みます。

○報告第4号 塩尻市教育支援委員会委員の委嘱に係る専決処分報告について

佐倉教育長 続いて、報告第4号、塩尻市教育支援委員会委員の委嘱に係る専決処分報告についてですが、資料の8ページ、9ページです。事務局から説明をお願いします。

竹中こども教育部次長（こども未来課長） それでは報告第4号、塩尻市教育支援委員会委員の委嘱に係る専決処分報告についてです。

1番、趣旨でございますが、教育支援委員会委員の任期が令和8年5月31日をもって満了になったことに伴い、設置要綱第3条及び第4条の規定により、新たに委員を委嘱しましたので、報告するものであります。

2番、委嘱委員でございますが、御覧の11名、新任3名、継続8名ということになっております。

3番、教育長専決日はこの6月1日でございますが、その下、任期につきましては、6月1日から2年間ということで、令和10年5月31日までとなっております。

5番は根拠例規となっております。説明は以上です。

佐倉教育長 委員の皆さんから御質問、御意見ありましたらお願いをいたします。よろしいですか。

それでは、報告のとおり御承知おきください。

4 議事

○議事第1号 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについて

佐倉教育長 それでは次、議事に進みます。議事第1号、県教育委員会及び市町村教育委員会相互の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについてですが、資料の10ページから15ページまでです。事務局から説明をお願いします。

上條学校教育課長 それではまず、10 ページのほうを御覧ください。

趣旨であります、長野県教育委員会と塩尻市教育委員会が、教育行政の適正かつ円滑な運営を図るため、教職員の任免その他の進退等に関して、了解事項を取り交わすことについて協議するものでございます。

13 ページを御覧ください。こちらのほうに了解事項を掲載してございます。内容につきましては、教職員の任免その他の進退等に関して、県教育委員会と市町村教育委員会とが十分な連絡調整を行うこととされております。

続いて、14 ページを御覧ください。この覚書は双方が適正に事務を執行することについて書面を取り交わし、その内容について実施するものでございます。説明は以上となります。

佐倉教育長 ありがとうございます。委員の皆さんから御質問、御意見がありましたらお願いをいたします。よろしいですか。昨年も確認をしていただいて、毎年御確認をいただいているものですから、よろしいですか。

それでは、採決をいたします。議事第1号につきまして、原案のとおり決することによろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

佐倉教育長 ありがとうございます。異議なしと認め、原案のとおり決することといたしました。

本日予定されていましたが、そのほか、委員の皆様から何かありましたらお願いをいたします。いいですか。

そのほか事務局から何かありましたらお願いをいたします。いいですか。

5 閉会

佐倉教育長 ないようですので、それでは以上をもちまして、6月定例教育委員会を閉会いたします。ありがとうございます。

午後3時08分に閉会する。

以上

令和8年7月30日

署 名

教 育 長

同職務代理者

委 員

委 員

委 員

記 録 職 員 学 校 教 育 課
教 育 企 画 係 長
